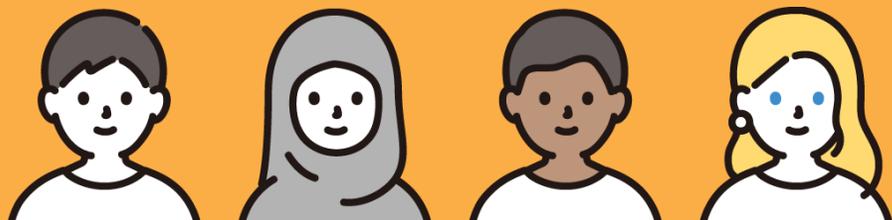
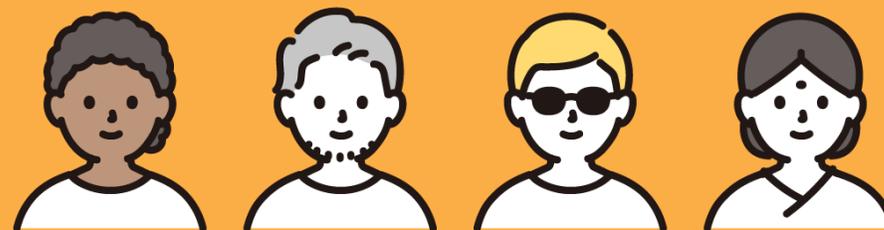


第4回 外国人児童生徒等の教育の充実に関する有識者会議



群馬県教育委員会の取組について



群馬県教育委員会 教育長 平田 郁美

わたしたちが目指すもの



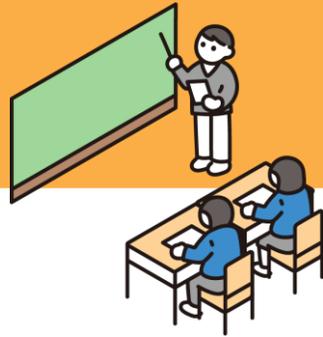
- 日本人と外国人が対等な関係を構築
- 誰一人取り残さず地域社会の一員として共生
- 多様性を活かして
多文化共生・共創社会づくりに貢献

わたしたちが取り組む3つの柱



1 すべての教員が
一定水準の専門性
を備えること

- ▷ ポータルサイト「ハーモニー」
- ▷ 研究協議会
- ▷ 研修講座（総合教育センター）



2 地域差のない
一貫した指導体制
の構築、充実

- ▷ きめ細かな支援事業（集住）
- ▷ JSVの配置（散在）



3 心理面を含めた
包括的支援の
充実

- ▷ 心理サポート事業（カウンセリング）
- ▷ 教育相談事業（電話相談）

わたしたちの価値観

1

外国人児童生徒等を肯定的に受け入れる

学校、教職員、
子供たちにとって
よい効果が生まれる



2

安心して学べるように寄り添う

最優先は、
学校全体の見守りから
生まれる安心感

3

母語や母文化を尊重する

そのままの姿を受け入れ
よさを生かす

4

言葉の力を把握することの重要性

生活言語と学習言語の
違いを意識した関わり

5

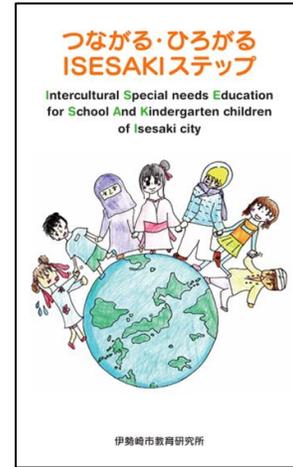
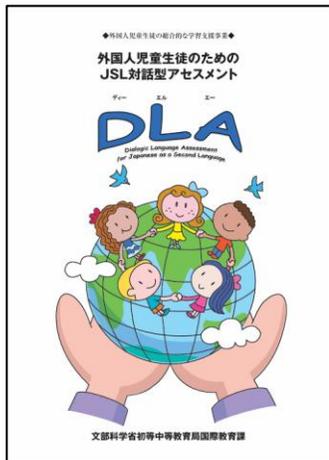
多文化共生教育の推進

多文化共生・共創社会の
実現に学校教育の果たす
役割の大きさ

わたしたちの取組 アセスメント

外国人児童生徒のためのJSL 対話型アセスメントDLAの活用

- ・ 研修の機会等を活用し県内に継続的に周知
- ・ J S V による散在地域での活用促進



項目	内容
1. 目的	...
2. 対象	...
3. 実施時期	...
4. 実施場所	...
5. 実施者	...
6. 実施方法	...
7. 評価	...
8. その他	...



つながる・ひろがる I S E S A K I ステップ(伊勢崎市)

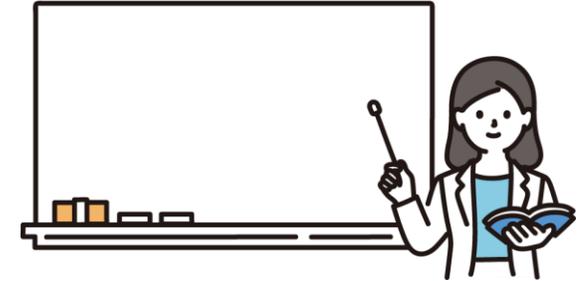
- ・ ことばの力を見取る指標
- ・ 在籍学級での支援方法ヒント
- ・ 「できること」「好きなこと」「得意なこと」を大切に

わたしたちの取組 日本語指導



外国人児童生徒等への学校生活支援ぐんまのぐんぐんガイド

- ・ 受入れ～初期指導までをフォロー
- ・ 初期指導プログラム（全15単元分）



外国人児童生徒等への学習支援ガイドブックぐんまのかけはし

- ・ 初期指導後から在籍学級へ
つなぐ指導をフォロー
- ・ 中期指導プログラム（全15単元分）
- ・ インTRODクション動画



わたしたちの取組 在籍学級における学び

学級づくりの工夫

在籍学級での学習支援参考資料

学級づくり 基本編「教室掲示物等の工夫」

情意支援 のため、以下のようなことを心がけてみましょう。

○児童生徒が日本語がわからずに困っているときや、周囲の児童生徒が助けたいときは、**すぐに指し示すことのできる教室掲示物**を活用。



【あると助かる掲示物】

※ひらがなやローマ字等、読める文字で

- ・友達の写真&名前
- ・各教室の写真&名前
(図書室、音楽室、体育館等)
- ・学用品の写真(イラスト)&名前 等

○日本語がわからない児童生徒が、自分の今の気持ちや状況を安心して伝えられるような絵カード等を活用。

※きもち&しょうきょうカードは、本コンテンツ目次に
☆すぐに役立つ資料☆として掲載しています。



- ・担任ばかりが動くのではなく、児童生徒相互の助け合い文化を育む
- ・学習形態、座席配置、掲示物等の工夫

授業づくりの工夫

在籍学級での学習支援参考資料

授業づくり 実践編：単元「小学校2年生算数：かけ算」

教科の目標：乗法の意味について理解を深め、それをいえることができる。

日本語の目標：「○のどんは、かける数が1ふえると、答えは○ふえる」

「かける・かけられる(受け身表現)」「はじめに、次に、最後に(手順・順番)」等の表現を理解し、使うことができる。

活動展開

①かけ算について、アレイ図等を用いて構成を理解するとともに、右図のような**動作化を用いたゲーム**によって、理解を深める。

理解支援 記憶支援 かけ算の意味や数の概念の理解・定着を促す。

- ・日本語教室等で進められている学びを共有
- ・誰にとっても「わかりやすい授業」にする工夫

わたしたちの取組 ICT活用

オンライン会議アプリ等を活用した協働的な学び



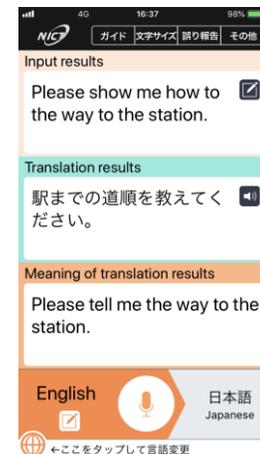
A小学校



B小学校

- ・校内における同一母語をもつ児童生徒同士の相互支援
- ・他校にいる同じルーツの児童生徒による協働学習
- ・母語を用いて学べる安心感

翻訳アプリを活用した個別最適な学び



- ・母語の力を生かし、学習内容の理解や、作文等の表現活動を補助
- ・「母語→日本語→母語」と翻訳だけでなく、再翻訳されるため、意図したとおりに伝わりやすくなる

わたしたちの取組 母語・母文化の尊重

「多文化共生・共創社会」の実現に向けて



- ・ 多様性を生かして新たな価値を創造、地域に活力
- ・ 群馬県多文化共生・共創推進条例施行 令和3年4月
- ・ 群馬県多文化共生・共創推進基本計画策定 令和4年3月

マイノリティの視点から多文化共生教育を考える



- ・ 母語対応のできる支援員の配置促進（補助事業）
- ・ 多様な子供がそのままの姿で肯定される環境づくり
- ・ 自らのルーツを胸を張って語る

わたしたちの取組 包括的支援



ロールモデルインタビュー動画

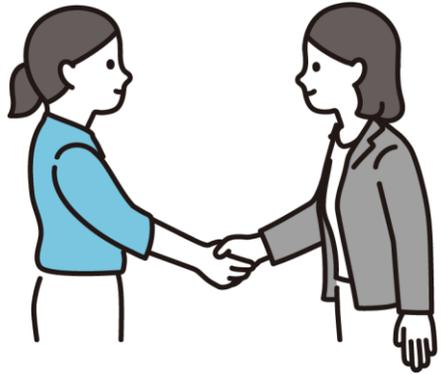
- ・外国にルーツをもち、日本の学校に通っていた先輩
- ・7言語14人の動画、キャリア教育に活用



多言語進路ガイダンス動画

- ・日本の学校制度、進学に必要な費用、入試制度等
- ・学校において保護者面談や進路指導等に活用

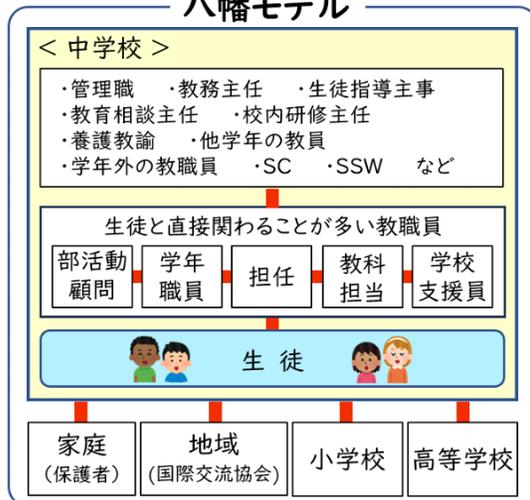
わたしたちの取組 指導体制づくり



市町村、関係機関との連携

- ・ **就学前** 市町村の住民登録担当課等（国の調査を活用）
- ・ 県の指導主事会議（外国につながる子供の学び部会）
- ・ 国際交流協会、地域日本語教室とつながる

八幡モデル

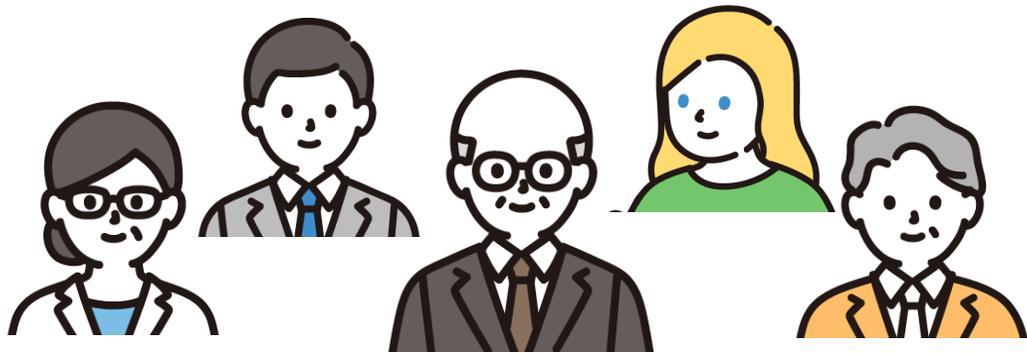


校内の指導体制構築

- ・ 散在地域の指導体制モデル（J S Vの実践研究）
- ・ 管理職向けの情報提供（ハーモニー）
- ・ 個別の指導計画で母語支援者も含めた教職員をつなぐ

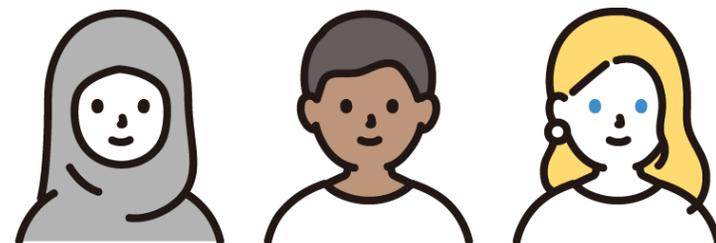
わたしたちの課題と対応

日本語指導担当以外の教職員の関わり



- 研究協議会で関係する校内全教室の授業を公開
- J S V の巡回による散在地域の人材育成
- 県総合教育センターの講座

教諭以外の人的リソースの拡充



- 母語やルーツにつながる支援員の生む**安心感**
- 散在地域におけるキーパーソンの発掘
- 多言語版の心理検査に対応可能な人材